



大学向けの例文だけでは書けない進路のための例文集です。スポーツ推薦と専門学校(AO入試含む)の完成例文を4本並べました。自分の状況に近い1本を見つけ、赤字部分の考え方を自分の経験に置き換えて使ってください。

スポーツ推薦 800字の例文(813字)

私は陸上競技の長距離種目に3年間取り組み、地区大会での入賞を目標に走り続けてきました。中学時代から始めた長距離走ですが、高校入学後は朝練と自主トレーニングを重ね、1年時よりも2年時、2年時よりも3年時と記録を伸ばしてきました。特に力を入れたのは走るフォームの見直しです。顧問の指導だけでなく、自分で動画を撮影して確認し、修正点をノートに書き出す習慣を続けました。フォームを直すたびに一度は記録が落ちる時期もありましたが、原因を自分の言葉で説明できるまで見直しを続けました。この積み重ねが、地区大会での自己記録更新につながったと考えています。

貴学を志望する理由は、競技を続けながら学べる環境が整っている点と、スポーツ科学の視点からトレーニング方法を学べるカリキュラムがある点です。オープンキャンパスで授業を見学した際、けがの予防や栄養管理についての講義があり、これまで感覚だけに頼っていた練習を、根拠を持って組み立て直せると感じました。競技を続ける中で、記録を伸ばすことと同じくらい、けがをしない体づくりの大切さを実感してきたため、この分野を体系的に学びたいと考えています。また、先輩選手が競技と学業を両立させている様子を知り、この環境であれば自分も同じように取り組めると感じたことも、志望の理由のひとつです。

入学後は、競技を継続しながら、後輩の指導にも関わりたいと考えています。自分が先輩から教わったフォームの直し方や練習メニューの組み方を、今度は自分の言葉で伝える側になりたいです。授業で学ぶ知識と、これまでの競技経験を照らし合わせながら、感覚に頼らない練習メニューを自分なりに組み立てていきたいとも考えています。将来は、学校や地域のスポーツ現場で、選手のけがを防ぎながら記録を伸ばす手伝いができる仕事に就きたいと考えています。そのために、貴学で学ぶ4年間で、競技の記録だけでなく、指導者としての基礎を作る期間にしたいです。

この例文のどこが効いているか

- ・「地区大会での自己記録更新」という具体的な出来事から始まり、実績を数字の誇示ではなく取り組み方の説明に使っている点です。
- ・志望理由を「競技を続けられるから」だけで終わらせていません。授業内容(けがの予防・栄養管理)という学校側の要素と結びつけています。
- ・将来像を「記録を伸ばす」で終わらせず、指導者としての立場まで踏み込んで書いている点です。

専門学校向けの例文(384字)

私が貴校を志望する理由は、プログラミングを基礎から学び、在学中に資格取得まで進められるカリキュラムがあるからです。高校の授業でパソコンを使う機会があり、簡単な作業を自動化する仕組みを知ったことがきっかけで、ITの分野に関心を持ちました。独学で入門書を読み進めましたが、分からない箇所を質問できる相手がいない状態には限界を感じています。貴校のオープンキャンパスで、少人数のクラスで実習を重ねる授業スタイルを知り、自分に合った学び方だと感じました。

入学後は、まず基本的な資格の取得を目標にし、そのうえでチームで一つのシステムを作る授業に力を入れたいと考えています。将来は、身近な業務の中にある手間のかかる作業を、システムの力で減らせるような仕事に携わりたいです。貴校で2年間、基礎から実践まで積み重ね、卒業時には自分の力で小さな仕組みを作れるようになりたいと考えています。

この例文のどこが効いているか

- ・「独学では限界を感じている」という具体的な悩みを先に書き、学校で学ぶ必要性を説明している点です。
- ・オープンキャンパスで見た授業スタイル(少人数・実習中心)という、その学校固有の情報を理由にしている点です。
- ・資格取得だけを目的にせず、卒業後にどう働きたいかまで書いている点です。

専門学校 800字の例文(749字)

私が貴校を志望する理由は、美容の技術を基礎から学び、国家資格の取得を目指しながら、接客も含めた実践的な力を身につけたいと考えたからです。高校生活の中で、文化祭の準備でクラスメイトのヘアアレンジを担当した経験があります。限られた時間の中で、相手の要望を聞きながら形にしていく作業に手応えを感じ、この経験が美容の分野に進みたいと考えるきっかけになりました。それ以来、動画サイトで技術を紹介している映像を見たり、家族の髪をセットする練習をしたりして、日常の中でも美容に関わる時間を増やしてきました。

その後、いくつかの学校を調べる中で、技術だけでなく接客やカウンセリングの授業に力を入れている学校を探していました。貴校のオープンキャンパスに参加した際、在校生が実際に施術の練習をしている様子を見学し、技術練習の時間の多さと、一人ひとりの手元を先生が細かく確認している指導体制に強く印象を受けました。独学で技術を身につけるには限界があると感じていたため、基礎から丁寧に指導を受けられる環境で学びたいと考え、貴校を志望します。また、資格取得のサポート体制が整っている点も、安心して学べる理由のひとつです。

入学後は、まず基本的な技術と国家資格取得に必要な知識を確実に身につけたいと考えています。そのうえで、店販やカウンセリングの授業にも積極的に取り組み、技術と接客の両方を身につけたいです。同級生同士で練習台になり合う授業では、施術される側の気持ちも意識しながら技術を磨いていきたいと考えています。将来は、お客様一人ひとりの要望を丁寧に聞きながら、その人に合った提案ができる美容師を目指しています。貴校で学ぶ2年間で、技術の土台を作る期間だけでなく、人と向き合う力を育てる期間としても大切にしたいと考えています。

この例文のどこが効いているか

- ・文化祭というありふれた出来事を、美容分野に進みたい理由として具体的に描いている点です。
- ・学校見学で見た「指導体制」という事実を志望理由に使い、感想だけで終わらせていない点です。
- ・技術面だけでなく、接客・カウンセリングという学校が力を入れている分野にも触れ、学校側の特色に合わせている点です。

専門学校AO入試向けの例文(583字)

私は、身近な物のパッケージやポスターのデザインを見るのが好きで、色や文字の使い方ひとつで印象が大きく変わることに興味を持ってきました。高校では美術部に所属し、文化祭のポスター制作を任された際、伝えたい情報の優先順位を考えながらレイアウトを組む難しさと面白さを実感しました。完成までに何度も配置をやり直しましたが、見る人の視点を意識して手を動かす作業が自分に合っていると感じています。

貴校を志望する理由は、実際の制作物を作りながら学ぶ授業が中心になっている点です。オープンキャンパスの体験授業で、テーマに沿ってポスターを作る課題に取り組んだ際、限られた時間の中でアイデアを形にする面白さと同時に、基礎的な技術の不足も実感しました。この経験から、感覚だけに頼らず、デザインの基礎を体系的に学べる環境で力をつけたいと考えるようになりました。

入学後は、基礎的なソフトの操作や配色の考え方を身につけたうえで、グループでの制作課題にも積極的に取り組みたいと考えています。一人で作る作品と、他の人の意見を取り入れながら作る作品では仕上がりが変わることも、体験授業を通じて感じた点です。将来は、地域の店舗や小さな団体が抱える、デザインに手が回らないという課題に関わる仕事に就きたいです。貴校で学ぶ期間を、好きという気持ちを、人に伝わる形にする力へと育てる時間にしたいと考えています。

この例文のどこが効いているか

- ・「好き」という気持ちを、文化祭のポスター制作という具体的な行動に落とし込んで説明している点です。
- ・体験授業で感じた「技術の不足」という弱さも正直に書き、学ぶ必要性の根拠にしている点です。AO入試では、完成された人物像より、伸びしろが伝わる書き方が向いています。
- ・将来像を「デザインが好き」で終わらせず、誰の役に立ちたいかまで具体化している点です。

大学向けとの書き方の違い

大学向けの志望理由書は「学問的な関心」が中心です。進路が変わると、書き方の軸も変わります。

- ・スポーツ推薦は、競技実績を数字として並べるのではなく、実績につながった取り組み方や考え方を説明する書き方が向いています。学業との両立にどう向き合うかにも触れると、競技だけの人という印象を避けられます。
- ・専門学校向けは、学問的な関心よりも実務寄りの視点が中心になります。「何ができるようになりたいか」「卒業後にどう働きたいか」を書きます。資格名や技術名など、学校案内に載っている具体的な情報と結びつけると説得力が出ます。
- ・AO入試向けは、完成度の高い実績よりも過程を書く比重が大きくなります。興味を持ったきっかけと、そこから今どう行動しているかという過程です。まだ足りない部分を正直に書くことも、伸びしろとして伝わる書き方のひとつです。
- ・大学向け・専門学校向けのどちらでも、具体的な内容を志望理由に入れると効果的です。「オープンキャンパスで見た・聞いた内容」であれば、感想文との違いが出やすくなります。

書き換えるときに変える場所

上の4本をそのまま提出せず、次の部分を自分の内容に置き換えてから使ってください。

- ・競技名・部活動名・資格名・学校名(〇〇大学、経済学部など)は、自分が実際に取り組んでいるものに変えます。
- ・冒頭のきっかけとなった出来事(文化祭、オープンキャンパスでの体験など)は、自分が実際に経験した場面に差し替えます。想像で書き足さないようにします。
- ・「感じました」「考えています」の前後にある理由づけは書き直しが必要です。自分がその学校のどの情報を見て、何を思ったかに合わせます。
- ・将来やりたい仕事のイメージが、まだ固まっていない場合もあります。その場合は「～という分野に関わりたい」程度の書き方にとどめます。

参考

- 各校の入試要項・志望理由書の指定字数は、出願先の学校の公式案内で確認してください。本資料の字数（800字・400字など）は例文作成上の目安です。